

2005.秋

本音 本気 本暖!

『知行合一』
とにかくやってみる
動かなければ始まらないから
これからも考えます 動きます
『百試千改』で



「旬の人」「老人力の人」
43歳の前原誠司民主党代表の登場は政界に波紋を広げている。リーダーを選ぶのに、今勢いのある、または、あると見られる若手にいきなりバトンを渡す思い切ったやり方である。小泉純一郎総理は「自民党にもかなり影響を与える」と反応した。政界の人事の常識を変えるきっかけになるかもしれない。企業も無関係ではいられないだろう。グローバル化などにより、経営環境が刻々と変わる中で経営トップの選び方も変えざるを得ない状況にあるからだ。経営には長期的な視点が必要だという意見はあるが、時代は変わってきている。今は時代の動きが速く、仕事は世界に広がっており、一人の価値観で10年も会社を引っ張ることはワンマン経営となり、経営は停滞する。よどみなくトップの新陳代謝すべきである。トップには精神力、気力、体力が不可欠。したがって若さが必要なのである。賞味期限切れのトップ経営者は早く清新な人材にポストを明け渡すべきである。という意見は大企業で人材豊富な企業であるが、中小企業の経営者の場合はどうであろう。大半が経営者一人の努力によって培われたノウハウが経営に反映されているケースがほとんどである。同族のケースが圧倒的で後継者が上手く育てばバトンタッチもスムーズであるが、その場合こそ「老人力」を発揮して老害にならない程度での大所高所からの監視と適切なアドバイスが必要であろう。良き伝統とノウハウをしっかりと後継者に引き継ぐことこそ最も肝要であろう。

育てる会会長 安井 淳 良



国体民泊

- ・安井会長宅には福井県のチームの監督が民泊されました。
- ・上田かつよし宅には大阪府チームの監督・コーチが民泊されました。

上田かつよしを育てる会

〒715-0019 井原市井原町680
TEL 62-1982

<http://www.ibara.ne.jp/~uecans5>
e-mail:uecans5@ibara.ne.jp
ご意見ご要望をお聞かせください

☆エッセー☆

「おじいちゃん、砂浜って何」というCMがありましたが、笑えないくらい、今われわれを取り巻く環境、気候変動は劇的に変化をしている。このままだと早ければ、孫の代あたりには「おじいちゃん四季って何」ということになりかねない状況だ。短い春、暑い夏（暑い夏の方が実感ですが）干ばつ、局地的な豪雨、大型台風の襲来、そしてまた短い秋、厳冬。四季のうつろいを感じ、風情を楽しむなんて、ますます遠い世界のこととなるのだろうか。

国を挙げて地球温暖化防止に取り組む「クールビズ」が今年の夏の大きな話題になりました。一国の総理大臣が唱えて頑張ってもらおうという身近な「クールビズ」に対しても、残念ながらわれ関せずの人がいたことは悲しいことです。地球温暖化防止は自分たちのこと以上に未来の人、未来の地球のためなんです。これは政治にも通じるところが大きい。心して取り組まなければならない。「ウォームビズ」暖房温度を1度設定（井原市役所では以前からこの温度で設定している）にできればお願いをしたい。同じ1度でも冷房温度を1度上げるよりも、暖房温度を1度下げるほうが二酸化炭素の排出量が4倍も違う。できれば厚着をして頑張りたいものです。未来の為に。